

## 平成 28 年度第 3 回滋賀県職業能力開発審議会 概要

### 1 日時

平成 28 年 12 月 26 日（月） 午前 10 時から正午

### 2 場所

滋賀県庁本館 2 階第三委員会室

### 3 出席委員（敬称略）

栗田、佐藤、藤野、木谷、堂山、山下、北川、大江、上田、相澤の各委員（出席 10 人）

### 4 事務局

福永商工観光労働部長 他 4 名

### 5 その他の出席者

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構滋賀支部（以下「機構」という。）

滋賀職業能力開発促進センター（2 名）

滋賀職業能力開発短期大学校（1 名）

滋賀労働局職業安定部地方訓練受講者支援室（1 名：オブザーバー）

### 6 議事概要

（1）しが職業能力開発推進プラン（仮称）の原案について

（資料 1～3 により事務局が説明）

（2）その他

## 【主な意見等】

### 議題 1 しが職業能力開発推進プラン（仮称）の原案について

#### [学識経験者委員]

若年者の課題のうち、コミュニケーション能力の不足が重要であるならば、原案 3 ページ 11 行目、(1) 若者の状況の「このような状況のから若者への職業能力開発の機会の提供が必要です。」の部分、「若者のコミュニケーション能力を高めることが必要である」という具体的な記述にしたほうが良いのではないかと。

同様の理由で、原案 8 ページ 24 行目の (1) 若者に対する職業能力開発の○の 2 項目目の「社会人基礎力が不足していることが若者の就職困難や早期離職の要因となっている・・・」の記述も変更したほうが良いように思う。

#### [労働者代表委員]

原案 8 ページの第 4 章の 1 求人ニーズと求職ニーズのミスマッチの解消の項目に、若者等に対して、職業訓練や仕事についての理解を深める機会を設ける内容を記述してほしい。

#### [労働者代表委員]

原案 10 ページの (3) 「しごと」や「ものづくり」にふれあう機会の提供のなかで、高校生に対するキャリア教育も大切であると考えます。このような取組があれば、記述してほしい。

#### [労働者代表委員]

原案 9 ページの 3 キャリア形成支援の項目のなかで、自分がどのようになりたいか、自らのキャリアを自らの望む方向に進めていく、労働者の主体的な取組に関する記述を加えるべきである。

#### [学識経験者委員]

第 4 章の各項目の標題と本文の間に、各項目を総括する文章を入れた方がまとまりが良いのではないかと。

(事務局)

各委員から頂戴したご意見と、庁内照会、庁議さらには1月に実施を予定している県民政策コメントの意見を踏まえて、原案を修正し最終案としたい。最終案については再度3月頃に開催を予定する第4回の審議会において、最終審議を行っていただく予定である。

議題2 その他

意見無し